



教育目標 ～ふるさと赤松を大切にする
赤松小学校 学校だより

はすの実

志をもって行動できる子どもの育成～

- あ** いさつする子
- か** んがえこうどうする子
- ま** けずにがんばる子
- つ** ながる子



赤松小 HP

令和7年 12月 22日 文責 近藤 慎也

「自分で考え 自分で決める」

あっという間の2学期でした。「自分で考え 自分で決める」、2学期のめあてとして、始業式で子供達に伝えた言葉です。先日の「わくわく集会」は、まさに、子供達が、自分で考え、自分で決めた出し物を披露しました。どの子も生き生きとした姿で、ステージに立っていました。自分で決めたことには、力を発揮します。大げさな表現になるかもしれませんが、覚悟と責任が伴うからです。もし、うまくいかなかったとしても、人のせいにすることなく、何かしらの学びが残ります。自分事になるからです。学校では、例えば、困っている子供がいたとして、①「どうしたの？」②「あなたはどうしたいの？」③「私(先生)に何かできることは、ある？」と、子供の思いを尊重し、子供に自己決定を促し、それを支えるというスタンスをとっています。授業では、「学び方やペース、学習内容に選択肢のある授業」で、自己決定を繰り返し経験させることで、より豊かに生きていくための力を育てています。

様々な場面で、子供達に、「こうしましょう」とすぐにアドバイスをしたり、指示を出したりすることの割合を極力減らし、「自分で考え、自分で決める」機会を増やしていきたいと考えています。これから先、子供達は、大切な判断や決断、問題にぶつかった時の根本的な解決は、結局、自分でしていくしかありません。自分で考え、自分で決めて、自分で動き出すことができる子供達へ。学校とご家庭、共に子供達の成長をサポートしていきましょう。

【主な行事】

1月

- 8日(木) 3学期始業式 11:05 下校予定
- 9日(金) 4時間授業 給食後 13:00 下校予定
- 14日(水) 学校運営協議会 18:30
- 15日(木) 防煙・薬物乱用防止教室 6年生
- 16日(金) 佐賀大学吹奏楽団コンサート⑤
- 19日(月) マラソン週間(30日まで)
- 20日(火) にじトーク
- 23日(金) 地震津波避難訓練⑤
- 24日(土) アバンセ杯放送コンクール

2月

- 3日(火) 城南中出前あいさつ運動
- 5日(木) 城南中出前あいさつ運動
新入学児童保護者説明会
- 6日(金) 人権の花鑑賞会 3年生

2月

- 9日(月) にじトーク
- 10日(火) 授業参観⑤ 1.2.3年生
⑥ 4.5.6年生
その後、6年学年懇談会
第2回体育施設開放委員会 18:30
※運営委員は 18:00～
- 16日(月) コミュニティ感謝のつどい⑤
コミュニティ合同連絡会⑥
- 17日(火) 4時間授業給食後 13:00 下校
～20日(金)まで
- 19日(木) 第3回城南豊夢学園運営協議会
赤松小図書室 18:30
- 26日(木) PTA 運営委員会 19:00
- 27日(金) 空飛ぶ体験あたりまえ化計画
バルーン搭乗体験 1.2.3年生

城南中学校出前あいさつ運動 9月9日(火)・11日(木) 城南豊夢学園 まなざしプロジェクト

城南中学校3年生の生徒会の皆さん12名が、9月9日(火)と11日(木)、本校の北門と南門に立ってくれて、あいさつ運動を行いました。朝から気温もあがり、かなり蒸し暑かったのですが、中学生も小学生も互いに元気なあいさつを交わしていました。子どもたちの明るい声が響く、気持ちのよい朝となりました。



夕学支援 9月17日(水)・18日(木) はすのみコミュニティ・佐賀大学1年生



9月17日(水)と18日(水)の2日間、放課後学習支援として「夕学」を今年度も実施しました。はすのみコミュニティの方と、実習に来ていた佐賀大学1年生14名に夕学の支援にあたっていただきました。放課後 30分ずつではありましたが、参加した子どもたちも集中して宿題に取り組みました。分からない問題があれば、すぐに聞くことができました。夕学に参加した子どもたちからは、

「教えてもらえてうれしかった。」「学校で宿題ができたのがよかった。」「次も参加したい。」などの声が聞かれました。

第3回学校運営協議会 9月24日(水) 18:30~

12名の学校運営協議会委員の皆様にご出席いただき、行事や学校課題についてご協議いただきました。その中で、公民館のフリースペースでの子どもたちの過ごし方について、「子どもたちがWi-Fiを利用して長時間ゲームをして過ごしている様子が見られる」とのご意見があり、少し心配される声が寄せられました。これを受け、公民館の方からは「利用を禁止するのではなく、子どもたちが安心して過ごせる「居場所づくり」を進めていきたい」という前向きなご提案をいただきました。学校としても、地域の皆様と協力しながら、子どもたちが安心して過ごせる場を整えていくことが大切であると考えております。そこで、子どもたち自身が話し合いを行い、公民館のフリースペースでの過ごし方について、次の2つのルールを決めました。【①ゲームの時間は1時間30分までとすること。②充電は家でしていただくこと。】自分たちで話し合って決めたルールです。これからも自分たちでしっかり守り、みんなが気持ちよく利用できるようにしてほしいと思います。なお、これらのルールは公民館にも掲示しています。保護者の皆様におかれましても、ご家庭におけるスマートフォンやゲーム機の利用、また公共の場での過ごし方について、改めてお子様と話し合う機会をもっていただければ幸いです。



赤松校区少年の主張大会 10月18日(土) 9:30~

赤松公民館で「第38回赤松校区少年の主張大会」が開催されました。赤松小児童4名、城南中生徒5名、附属中生徒3名が発表をしました。身近なことから課題や疑問を見つけ、それについて調べたり考えたりしたことを文章にまとめ、自分の言葉で堂々と力強く発表しました。「青少年健全育成に関する標語」の入選作品もこの大会で紹介いただきました。



水鏡プロジェクト「おほり灯ろうまつり」赤松まちづくり協議会主催 10月18日(土)



10月18日(土)、まちづくり協議会主催の「水鏡プロジェクト おほり灯ろうまつり」が開催され、今年で10周年を迎えました。秋の澄んだ空気の中、水面に映る灯ろうの光が幻想的な風景を作り出しました。本校の児童もボランティアとして参加し、約1200個の灯ろうを組み立て、丁寧に並べる作業を手伝いました。灯ろうの絵付けは5年生が担当し、昨年度の6年生の作品も展示されました。また、「灯りのプログラミング教室」も3回実施され、子どもたちの創造力と技術が光りました。夕方にはキャンドルに火がともされ、灯ろうの光が一層輝きを増し、来場者は静かな感動に包まれました。メインステージのコンサートも秋の夜を彩り、地域と子どもたちが心を通わせる素晴らしい体験となりました。